

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 消火設備用消火薬剤 第3種浸潤剤等入り水 鑑剤第 24～1 号
 整理番号 : WA-SJZ-005(3)
 会社名 : 日本ドライケミカル株式会社
 住所 : 〒114-0014 東京都北区田端 6-1-1 田端 ASUKA タワー
 担当部門 : 技術部 (TEL:03-5815-5025 Fax:03-3822-9770)

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 1

上記以外の項目については、分類できない、又は分類対象外

ラベル要素



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 皮膚刺激、重篤な眼の損傷

注意書き :

予防策

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。

対応

「4. 応急措置」を参照

保管

密閉した容器で使用温度範囲内にて保管すること。

廃棄

「13. 廃棄上の注意」を参照

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

化学名または一般名	含有量(%)	化審法番号	CAS No.
消炎剤	42	あり	あり
不凍剤	8.8	あり	あり
ふっ化ナトリウム	0.4	(1)-332	7681-49-4
防錆剤	微量	あり	あり
水	残り	—	7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合	:直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。必要に応じて医師の処置を受ける。
皮膚に付着した場合	:直ちに多量の水で 洗い流し、必要に応じて医師の診察を受ける。
眼に入った場合	:直ちに大量の水で 15 分以上洗浄し、必要に応じて眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	:水でよく口の中を洗浄し、コップ 1-2 杯の水又は牛乳を飲ませて医師の処置を受ける。
応急措置をする者の保護	:救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

該当しない(本製品は不燃性である)	
不燃性であるが、周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。	
移動不可能な場合には、容器及び製品に散水して冷却する。	

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	:作業の際にはゴム手袋、保護眼鏡、保護服等を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項	:飛散拡大防止措置を図り、回収する。また、薬剤及び洗浄に使用した水が、下水/河川等に流出し、環境への影響を起さないようにする。
除去方法	:回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。薬剤が附着した箇所は流水で良く洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策および注意事項	:取扱いは換気のよい場所で行う。 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。 取扱いの都度、容器を密閉する。 飛沫を吸入したり、眼に入らないようにする。 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
保管 保管条件	:雨水、直射日光があたらないように保管する。 容器は密閉して冷暗所に保管する。
安全な容器保管材料	:製品容器、該当する消火設備

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	:屋内で使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設けることが望ましい。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
管理濃度	:設定されていない。
許容濃度	:設定されていない。
保護具 呼吸器の保護具	:呼吸器保護具(マスク)
手の保護具	:保護手袋(ゴム、ビニール等の材質のもの)
眼の保護具	:ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	:保護服、保護長靴、保護前掛け等

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 無色透明 液体
臭い	: 無臭
比重	: 1.265 (20°C)
pH	: 6.5 (20°C)
凝固点	: -20.1°C
沸点	: データなし
溶解度	: 水に任意に混和、エタノールに可溶

10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温で安定
反応性	: 特記すべき反応性なし
避けるべき条件	: 日光、熱
危険有害分解生成物	: なし

11. 有害性情報

急性毒性	: 区分外(経口)
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 2(皮膚刺激)
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 区分 1(重篤な眼の損傷)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない
発がん性	: データ不足のため分類できない
生殖毒性	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: データ不足のため分類できない
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性 魚毒性 水生毒性(急性)	: データなし
水生毒性(慢性)	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 20L ポリ缶に入れ、日本消火器工業会が定める特定窓口へ引き渡す。または都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制	: 非該当
国際規則	: 非該当
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法	:非該当
毒物及び劇物取締法	:非該当
労働安全衛生法	:施行令十八条の二 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (ふっ化ナトリウム 政令番号 487)
水質汚濁防止法	:施行令第二条 アンモニウム化合物、ふっ素化合物

16. その他の情報

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保障するものではありません。